

# 各務原市 新庁舎建設について

新庁舎の機能を考える市民ワークショップ  
第1回資料

平成27年  
7月25日

## ◆各務原市本庁舎耐震化に係る検討経緯

平成25年度 本庁舎耐震診断



平成26年度 本庁舎耐震化基本構想策定  
(建替えによる整備)



平成27年度 新庁舎建設基本計画策定

## ◆各務原市本庁舎耐震化に係る検討経緯

### ■現庁舎の概要

現在の本庁舎は昭和48年3月に建設され、42年を経過した建物です。市庁舎については、市の発展や人口の増加に伴い市役所の事務量が年々増えるとともに、事務スペースの不足等から、昭和60年11月に建てられた総合福祉会館に健康管理課を置き、平成5年に産業文化センター（北庁舎）を建設しました。

	本庁舎	産業文化センター（北庁舎）	総合福祉会館（健康管理課）
構造	鉄筋コンクリート造 地上5階 地下1階	鉄骨鉄筋コンクリート造 地上8階 地下1階	鉄筋コンクリート造 地上4階 地下1階
敷地面積	12,737.00㎡	6,599.62㎡	3,239.89㎡
延床面積	10,229.60㎡	15,202.05㎡ (庁舎機能約4,200㎡)	4,440.00㎡ (庁舎機能約190㎡)
竣工年月	昭和48年3月31日	平成5年5月31日	昭和60年11月23日

2

## ◆各務原市本庁舎耐震化に係る検討経緯

### ■本庁舎の耐震性能

階	東西方向	南北方向
6	0.50	0.63
5	0.65	0.52
4	0.40	0.46
3	0.39	0.40
2	0.36	0.37
1	0.34	0.28
B1	0.44	0.40

- I s 値（構造耐震指標）とは、建築物の地震に対する安全性を示す指標
- 耐震改修促進法で必要としている耐震性能は0.6以上で、本庁舎では、表のとおり、ほとんどの階で0.6を下回っています。
- さらに、市役所や病院など災害対策の拠点となる公共施設は、1.5倍以上（I s 値0.9以上）の性能が求められます（「官庁施設の総合耐震・対津波計画基準」国土交通省）。

本庁舎は大規模地震発生時に倒壊又は崩壊の危険性が高いことがわかりました。

3

# ◆各務原市本庁舎耐震化に係る検討経緯

## ■本庁舎の耐震化整備方法の検討

耐震化の整備方法（①耐震補強、②免震補強、③建て替え、④現庁舎補強＋防災拠点新築）について、それぞれの特徴、メリット・デメリット、費用などを比較検討

- どの方法も同程度の事業期間が必要であること
- 耐震補強や免震補強を行っても建物の耐用年数は変わらず、将来的（約20年後）には建替えが必要となること（二重投資となる可能性）
- 耐震補強では庁舎内部にも多くの補強や改修が必要となり、使い勝手が今以上に悪くなり、免震補強では庁舎内部への影響は少ないが、改修は必要で工事費用が割高となること
- 改修工事を行っても打合せや相談のスペースの確保、バリアフリー化などへの対応には限界があること
- 長期的な観点（ライフサイクルコスト）では、建替えによる整備が有利であること



**本庁舎の耐震化整備方法の検討を行った結果、「建替え」による整備としました。**

4

# ◆新庁舎の整備方針について

## ■新庁舎の整備方針

<新庁舎の基本理念>

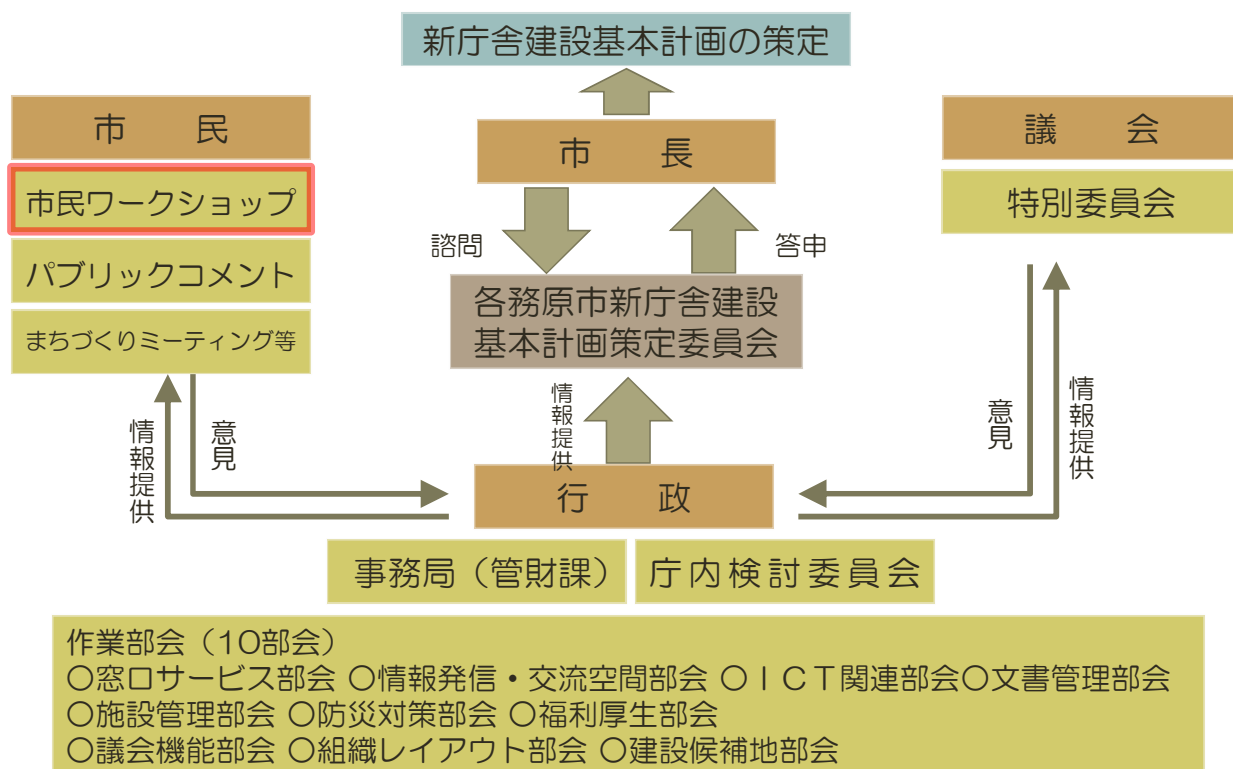
**市民の安全・安心な暮らしを支え みんなにやさしい庁舎**

<新庁舎の役割と基本方針>

役割	基本方針	機能の方針	
1. 防災拠点	防災拠点の機能が果たせる庁舎	・耐震性の確保 ・災害対策本部機能の整備 ・バックアップ機能の整備	
2. 市民サービス	誰もが利用しやすい庁舎	・窓口機能の整備 ・移動しやすい空間の整備 ・利用しやすい設備の整備	・相談機能の整備 ・駐車場・駐輪場の整備 ・分かりやすい案内の整備
	市民に親しまれる庁舎	・交流機能の整備 ・情報発信機能の整備	・議会施設の整備
3. 環境配慮	経済性に配慮した環境にやさしい庁舎	・省エネルギーへの対応 ・ライフサイクルコスト低減への対応	
4. 執務空間	機能的・効率的な庁舎	・執務空間の整備 ・セキュリティ機能の整備 ・会議室等の整備	

5

## ◆新庁舎建設基本計画の検討体制



6

## ◆新庁舎建設基本計画の概要

「新庁舎建設基本計画」は、新庁舎の建設場所、規模、導入する機能、概算事業費、整備スケジュール等、新庁舎建設の整備方針をまとめるもので、今後の設計の基本的な方針となる重要な計画です。

基本計画の内容は、おおむね次のとおりです。

### 【庁舎の位置付け】

#### ①現庁舎の現状及び課題、新庁舎建設の必要性、新庁舎の基本理念等の整理

- ・基本構想の内容とこれまでの検討経緯を整理します。

#### ②上位計画との関連性、整合性の整理

- ・市総合計画や都市計画マスタープラン等の上位計画を整理します。

7

## ◆新庁舎建設基本計画の概要

### 【整備計画】

#### ③新庁舎の建設場所について

- ・新庁舎の建設場所について比較検討を行った結果を整理します。

#### ④新庁舎の導入機能について

- ・新庁舎に求められる具体的な機能について整理します。
- ・市民アンケート（平成26年度）、市民ワークショップ、職員アンケート、各作業部会の検討結果等を参考にします。

#### ⑤新庁舎の規模の算定について

- ・職員数、議員数を想定したうえで、新庁舎に必要な面積を整理します。
- ・執務環境調査、文書量調査の結果等を参考にします。

#### ⑥配置計画に関する考え方について

- ・敷地の特性、敷地の利用方法、庁舎のゾーニング、配置部署について整理します。

8

## ◆新庁舎建設基本計画の概要

### 【事業計画】

#### ⑦概算事業費・財政計画について

- ・事業費（建設工事、外構工事、設計・監理等）及び財源について整理します。
- ・イニシャルコスト及びランニングコストを検証します。

#### ⑧事業手法について

- ・事業手法、設計者の選定手法について整理します。

#### ⑨整備スケジュールについて

- ・設計から事業完了までの整備スケジュールを整理します。

9

## ◆新庁舎の機能を考える市民ワークショップ

- 新庁舎に市民のアイデアや意見をより活かすためには、「ワークショップ」の活用が有効です。
- 新庁舎の機能で、主に市民、来庁者が利用する部分（案内、待合、バリアフリー等）の検討については、市民ワークショップにより、市民参加によって進めていきます。
- 市民ワークショップにおける検討内容が市の意思決定に活かされるように、ワークショップでアイデアを出し、新庁舎建設基本計画策定委員会の検討に反映します。

